



NPO 法人

山邨三記念

2009 年

冬号

No.46

すまい・まちづくり文庫レター

《特集:第11回夏の学校・・・今年もジョグジャで》



2009 年夏の学校 in ジョグジャ 参加者集合写真

今年は「二つの世界遺産を持つ歴史都市でインドネシアの学生とのワークショップで学ぶ 都市と農村のサステイナブルな計画」をテーマに掲げ、昨年と同じジョデ、カソンガン、コタグデの3フィールドのほか、今年はバティックの工芸村のギリロヨ、都心の屋敷街マゲルサリ、都心商店街のマリオボロを加えた、6フィールドでより幅広い課題に取り組みました。また、インドネシアの学生の割合が多くなった中で悪戦苦闘しながら、8班の混成グループごとに早朝から夜遅くまで課題に取り組みました。もちろん今年も大きな感動と成果をあげました。

昨年の熱気あふれる大成功に味をしめて、今年もインドネシアのガジャマダ大学の先生方の全面協力を得て、インドネシアジャワ島の古都ジョグジャカルタで8月16日から4日間開催しました。日本から36名の学生と9名の教員、そして現地のガジャマダ大学 UGM の23名、同じくジャワ島の産業都市セマランにあるディボネゴロ大学 UNDIP の16名の学生と数名の教員が参加しました。

夏の学校プログラムの概要 - Outline of program -

8/15 (土)	日本発：ジョグジャのホテル宿泊
8/16 (日)	午前：開校式、オリエンテーション、ガジャマダ大学教員によるフィールドレクチャー 午後：2班ごとにバスで3つのフィールド見学、レストラン「バリバリ」で歓迎パーティ
8/17 (月)	午前：フィールドレクチャー 午後：班ごとに課題フィールドワーク 夜：班ごとに夕食とワークショップ
8/18 (火)	一日中フィールドワークの続きとワークショップ 教員は一日中国際シンポジウム (2009ISSC) に参加
8/19 (水)	午前：班ごとにワークショップ、プレゼンの作成 午後：プレゼンテーション、講評と表彰、修了式とサヨナラパーティ
8/20 (木)	オプションでボロボドールとブランパナの2か所の世界遺産遺跡を訪問

なお、帰国に前後して参加学生・教員にインフルなどの患者が続出して大騒ぎになりましたが、みなさん軽症で快癒し一安心しました。

目次 -Contents-

特集：ジョグジャカルタ・夏の学校

夏の学校 2009 終了報告	1
プログラム・スケジュール概要・グラビア集	2
参加学生アンケート結果、学生の感想文	5
フィールド概要・ワークショップまとめ、各グループの提案	／吉田 友彦 8

国際シンポジウム	／橋本 清勇 12
マイスタディ：若手研究者はいま	／海道 清信 16
すまい・まちづくり図書紹介	／天野 圭子 18
文庫よりお知らせ	／三村 浩史 19

●秋フォーラム速報	
●寄贈本	
●文庫資料閲覧訪問記録	
●編集後記	20